宮西達也ワンダーランド展
ヘンテコリンな絵本の仲間たち

平成27年
10月3日(土)～11月23日(月・祝)

『おとうさんはウルトラマン』複製画 1996年 学研教育出版
©宮西達也 ©円谷プロ

～担当学芸員・坪井則子さんが語る展覧会の見どころ～

平成27年秋、佐野美術館では「宮西達也ワンダーランド展」を開催します。
『おまえ うまそうだな』『おとうさんはウルトラマン』など、数多くの心あたたまる作品で知られる三島市在住の絵本作家・宮西達也。カラフルな色彩と大胆なタッチで描かれた個性豊かなキャラクターと、家族愛や友達の大切さを伝えるストーリーは、子どもから大人まで多くの人を魅了してやみません。
ふるさと静岡における初の本格的な展覧会である本展。見どころを坪井則子学芸員に聞きました。

宮西先生はどんな方ですか？

坪井　明るく活発でお話好き、とにかくとっても元気な方です。絵本作家になる前は、デザイン会社でグラフィックデザイナーとして働いていました。どうしても絵を描く仕事がしたくて、一念発起し退社。絵本作家に転身しました。

幼少期を過ごした清水町は、宮西先生にとってどんな場所ですか？

坪井　宮西先生は東京の大学へ進学するまで、柿田川の近くに住んでいました。富士山の雪解け水が流れる冷たい川で泳いだり、魚やカニを捕まえたり。豊かな自然の中でのびのびと遊んだ経験が、自分を形成してくれたと話しています。絵本作りも子ども時代の思い出にヒントを得ているのだと思います。

代表作の一つ『おとうさんはウルトラマン』は子育て中の正義の味方が主人公。ユニークなキャラクターですね。

坪井　『おとうさんはウルトラマン』は、仕事に育児に奮闘するウルトラマンの日常を描いた人気シリーズです。ある時ウルトラマンを題材にした絵本制作を依頼され、先生自身にお子さんが誕生した直後だったため、「お父さんをテーマにした作品をつくりたい」と、この作品が生まれたそうです。怪獣と闘って傷だらけになっても、家に帰れば全力で子どもと遊んであげる。優しくてかっこいいけど、時にはお母さんに叱られる。父親の姿を正直に描いている所に共感できます。

会期中はたくさんのワークショップがありますね。特に宮西先生ご本人による「絵本の読み聞かせ」はとても楽しみです。

坪井　宮西先生の「読み聞かせ」は、読み手と一緒に聞き手も登場人物として参加し役になりきるため、とても迫力があります。お芝居さながらキャラクターを演じ、掛け合います。
初めて出会った人たちが1冊の絵本を通じて笑ったり泣いたり。宮西先生は読者との交流ができる読み聞かせをとても大切にしています。それは、自分の絵本を読んでくれる人たちと直に接し、コミュニケーションを図る中でさらに作品が良くなっていく、という考えをもっているためです。

どんな点に着目すると、展覧会をより楽しめますか。

坪井　宮西先生の絵本は、単に子どもが読むためだけの児童書ではなく、どの世代が読んでも共感できるストーリーや奥深いテーマが魅力となっています。多くの人はお金や権力、学歴など目に見えるものにこだわります。しかし、人を本当に幸せにするものは、優しさと思いやりです。大切なものは目に見えないもの―。宮西先生の作品には、一貫してこのメッセージが込められています。

（構成・ミューズクラブ事務局　遠藤充美）

『おまえ うまそうだな』複製画 2003年 ポプラ社　©宮西達也

ミューズクラブ会員　募集中

ミューズクラブでは、随時会員を募集しています。
特典として、年間パスポート発行はもちろん、
アートに親しめる美術館ならではのイベントを多数開催しております。
お気軽にミューズクラブ事務局（TEL055-975-7278）までお問合せください。

新規入会者（平成２７年４月１日～８月３１日まで）

正　会　員　礒貝三枝子、長田良子、小野妙子、勝間田久子、川内由美子、諏訪洋、竹井英夫、日本美術刀剣保存協会静岡県支部 長橋真澄、樋口裕子、株式会社 前田建設 前田磨、峰田富枝、八木君江、山内紀子、山田勝造、渡辺忠昭

※敬称略、50音順

Number 16 2015.09
佐野美術館賛助会ミューズクラブ会報
2015年9月号／第16号
発　行　日／平成27年9月1日　編集・発行／佐野美術館賛助会ミューズクラブ
〒411-0838　静岡県三島市中田町1-43　TEL:055-975-7278　FAX:055-973-1790　ホームページ:http://www.sanobi.or.jp

佐野美術館賛助会ミューズクラブ会報
ミューズ交歓
佐野美術館と皆さまをつなぐ
Number 16 2015.9
Muse Club Magazine
SANO ART MUSEUM

平成 27 年度下半期　イベント情報

じゅう　さん　や　うたげ
十三夜の宴

日　　程：平成27年10月25日(日)
時　　間：17:00開場／17:30開宴
会　　費：会員3,000円
　　一般5,000円
定　　員：約100名(要申込・先着順)
会　　場：佐野美術館庭園内「隆泉苑」(雨天の場合は佐野美術館ロビー)
出　　演：常葉一雄
　　アンサンブル・レヴォリューション

今年も「十三夜の宴」の季節がやってまいります。
月と音楽を愉しむ演奏会「十三夜の宴」は、多くの会員の皆さまにご参加いただけるよう国の登録有形文化財である隆泉苑の庭園を会場とし、美しい調べを秋空のもとで聴いていただく屋外コンサートです。今年は、指揮者・常葉一雄氏と、若手演奏家で結成されたアンサンブル・レヴォリューションをお迎えし、クラシックの名曲をお届けします。演奏終了後は、温かいお食事やお酒を傾けつつご歓談ください。お月さまがのぞく晩秋の夕べ、ご家族やお友達と心癒されるひとときをお過ごしください。

指揮　常葉（ときわ）一雄

旧富士川町出身。桐朋学園大学演奏学科、パリ・エコールノルマル音楽院にてトランペットと指揮を学ぶ。1996年、バロック合奏団アンサンブル・デュ・ソレイユ(現ソレイユ・ルヴァン)を結成し、各地で演奏会を催し絶賛を博す。コミュニティFMラジオエフにて、クラシック音楽番組のパーソナリティーを務める。2013年アンサンブル・レヴォリューションを結成し、演奏活動を行っている。

アンサンブル・レヴォリューション

2013年、常葉一雄氏の主宰で、県内の演奏家を中心として結成。様々な楽器編成で、バロック音楽から現代音楽まで、幅広いレパートリーの演奏を目指す。今回はホルン、オーボエ、トランペット、弦楽器という編成で、ヘンデル作曲の管弦楽曲集「水上の音楽」を中心とした演奏を行う。

EVENT
イベント
スケジュール
平成27年度

平成27年度 活動予定

イベントスケジュール

EVENT
イベント
情報

平成27年度下半期に開催されるイベントをご紹介します。お気軽にご参加ください。

第10回 ミューズクラブ ゴルフ大会

日　　程：平成27年9月11日（金）
時　　間：8：00受付／8：40スタート
会　　費：会員3，000円／一般5，000円
定　　員：32名（4名×8組）
会　　場：芦の湖カントリークラブ
プレー代：8，000円（カートフィ・税込）※昼食代別

秋のスポーツシーズンに向け、今年も芦の湖カントリークラブでミューズクラブゴルフ大会を開催します。本大会も盛況のうちに記念すべき第10回目を迎えることとなりました。今年もぜひスポーツを通じて、会員相互の交流を深めていただきたいと思います。大会終了後は、表彰式とささやかな懇親会をご用意しております。美術館ならではの景品を多数取り揃えて、皆さまのご参加をお待ちしております。

館蔵品特別鑑賞講座
～仏教絵画編～

※日時・内容は変更する場合がございます。

日　　程：平成27年12月5日（土）
時　　間：14：00～16：00
会　　費：1，000円（お茶・お菓子付き）
定　　員：20名（要申込・先着順）
会　　場：佐野美術館隆泉苑
講　　師：志田理子（佐野美術館学芸員）
出品作品：収蔵品の仏教絵画5点ほど（予定）

昨年開催しました「はじめての仏像編」につづき、今回は「仏教絵画編」をご紹介します。仏教絵画とは、仏像や経典の内容など仏教を題材にした絵画のことです。礼拝の対象として、仏さまを拝むために描かれました。また、布教の役割も担い、仏教の教えや説話、難解な経典を、民衆に分かりやすく伝える手段に用いられました。今回は、仏教絵画に隠された意味や鑑賞する際のポイントをお話しします。

※画像はイメージ

MUSE 招待席　“佐野美術館とのご縁”

診療の合い間の昼休みを私はウォーキングに当てており、佐野美術館・三嶋大社・楽寿園をその日の気分で廻っています。なかでも佐野美術館は、展示物を楽しみ庭園を散策するのは至福のときです。

2010年2月に三島でスポーツ医学の講演会を企画し、敬愛する菊地臣一先生（福島県立医科大学理事長兼学長）をお招きしました。その当日、先生はご講演前に佐野美術館を訪れることを希望されたのでご案内しました。遠い福島の先生がこの美術館をご存知だったことを嬉しく思ったものです。翌年3月11日、東日本大震災が起こり福島は大きな被害を受けました。先生はそれを天命と受け止められ、「福島の悲劇を福島の奇跡へ」と奮闘中のお姿には頭が下がる思いです。

少し古い話ですが1987年6月に渡邉妙子副館長の静岡県文化奨励賞受賞を祝う会があり、当時の三島市長・奥田吉郎さんと三島の文化団体代表の私が渡邉さんを囲んで鏡開きを行ないました。当時のなつかしい写真が残っています。佐野美術館生え抜きの渡邉さんはその後館長になられました。

最近インターネット上のゲーム「刀剣乱舞」から刀剣女子が激増したと聞きました。ブームに乗るわけではありませんが、佐野美術館の主要コレクションである日本刀の権威、渡邉館長に今後とも刀剣の魅力を多くの方々に伝えていただきたいと願っています。

医師・ゴールド会員
田熊清彦

平成27年度上半期 活動報告

イベントレポート

平成27年度上半期は、2つのイベントが開催されました。

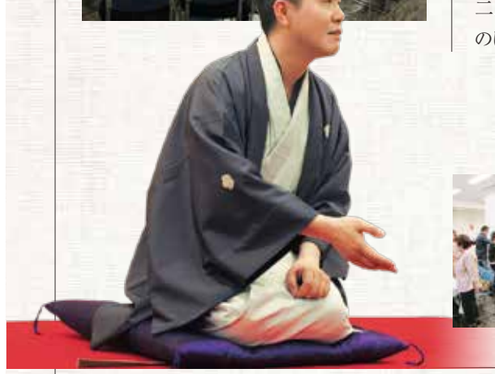
佐野美術館賛助会ミューズクラブ会報
ミューズ交歓
佐野美術館と皆さまをつなぐ

会員のつどい

日　　程：平成27年4月29日（水・祝）
時　　間：15：00～18：00
参加人数：47名

会員のつどいは亀山千鶴男運営委員長と峰田武理事長の挨拶から始まりました。事務局による事業報告、会計報告がありました。芸術鑑賞日帰りバス旅行、新規事業である歌舞伎座鑑賞旅行等のイベントの説明、これらの決算、美術館への賛助について説明があり、承認されました。続いて、余興に入船亭小辰さんの落語「金明竹」と「ねずみ」の二席が演じられ、大いに笑いました。お若いのに達者な語り口に感心しました。

懇親会準備のため休憩に入り、二階展示室で「世界を魅了した“青”―浮世絵名品展」を見学しました。照明を抑えた会場に沢山の素晴らしい浮世絵があり感動しました。
懇親会は主催者の挨拶に続いて、会員である元三島市長・奥田吉郎さんの乾杯のご発声で始まりました。終始なごやかな歓談がなされ、佐野美術館応援団のつどいは楽しくお開きとなりました。
（ミューズクラブ運営委員　川口保一）



芸術鑑賞日帰りバス旅行

日　　程：平成27年6月22日（月）
時　　間：7：00～19：30
参加人数：77名

梅雨とはいえ当日は清々しい天候に恵まれてのバス旅行でした。私は東京都庭園美術館ははじめてでしたので、とても楽しみにしておりました。戦後、旧宮邸は民間の手に渡りホテル等に変貌しましたが朝香宮邸はそのまま美術館として開放されました。当時の建築技術の高さをかいま見ました。そこで開催されておりました「マスク展」は世界各地から集められ、祭祀や狩りの時に使用されたと思われる面の材料が獣毛や植物の繊維など使われておりました。実に繊細でありユニークでおもしろかったです。また昼食の八芳園のお食事もとてもよかったですし、大久保彦左衛門氏の邸宅跡の庭では石塔や樹齢500年の盆栽に感激いたしました。「古き良きものは大切に保存すべきだ！」という思いが改めて心に浮かびました。その後、歌舞伎鑑賞して無事帰途につきました。
今日一日は本当に伝統文化の中に我が身を置いた一日でした。お世話をしていただきまして有難うございました。
（ミューズクラブ運営委員　大庭治美）

～参加者の声～

- 美術館、食事、歌舞伎と楽しませていただきました。特に東京都庭園美術館の建物、企画展の「マスク展」は素晴らしかった。
- 国立劇場の歌舞伎は解説付きで、またあらすじが周知の演目だったので、入門者の私にはとても分かり易かったです。
- 八芳園での時間は少し足りなかった。食事の後に茶室で抹茶をいただきたかったので。それ以外は老人にとって良いコースでした。
- 慌てないスケジュールがいいですね。来年も楽しみにしています。

東京都庭園美術館

八芳園庭園ガイドツアー

佐野美術館賛助会
ミューズクラブ